

6月5日は環境の日、6月は環境月間です。



6月5日は「環境の日」です。これは、昭和47年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。日本でも、環境基本法で「環境の日」と定めています。また、環境省では環境の日に合わせて、6月を環境月間としています。

一人一人が毎日の暮らしをエコにしていけば、必ず大きな力になります。普段の生活の中で、身近な環境に目を向け、環境保全の重要性を考えてみましょう。



E
C
O
I
N
F
O

侵略的外来生物（オオキンケイギク）について

オオキンケイギクは、5月から9月ごろまで鮮やかな黄色の花を咲かせます。種子で広がるだけでなく、多年草なので毎年、地中に残った根からも茎や葉が伸びてきます。近年、近江八幡市内においても、道路沿いや河川沿いにオオキンケイギクの分布域が拡大しています。在来生物の生育場所を奪うおそれから、平成18年に外来生物法で特定外来生物に指定されており、栽培することは禁止されています。おうちに生えていたら抜き取って燃えるごみとして出してください。

Vol.1

キバナコスモスとの見分け方について

オオキンケイギクは、9月ごろから咲き始めるキバナコスモスによく似ていますが、キバナコスモスは、①開花期が初秋、②花びら（舌状花）の先の形が違う（ぎざぎざが少ない）、③葉が短く、切れ込みが多い等の点で見分けることができます。

キバナコスモスの花
花びらのギザギザ少なく
丸みをおびている



オオキンケイギクの花
花びらのギザギザが多い

